

令和2年4月1日

新型コロナウイルス感染症予防の対応指針

富山大学人間発達科学部附属小学校

◇令和2年度開始日より、感染症予防の観点から以下の対応を行う。

<始業式、入学式後の指導>

- 新型コロナウイルス感染防止の意識を高めるため、資料「コロナウイルスってなんだろう」、資料「新型コロナウイルスに対する学校でのメンタルヘルス支援パッケージ」を用いて、指導を行う。
「①手洗い ②咳エチケット ③換気」を行う。

<日々の教育活動にて>

- 教室の壁を開いて、風通しのよい状況をつくる。
- 教員は原則としてマスクを着用して、指導を行う。
- 児童にはマスクの着用を奨励する。
- 教員は原則として検温を行ってから出勤する。
- 児童は毎朝家庭での検温をしてから登校し、担任は毎朝、検温カードを確認する。
- 児童は、登校後すぐに教室前の手洗い場で手洗いを行う。
※玄関のアルコール消毒は外来者用とする。
- 教員は、顔色を見ながら健康観察を行い、体調がすぐれない児童に対しては、養護教諭に連絡し、保健室で検温を行う。発熱があれば、家庭へ連絡する。
- 休み時間ごとに、窓を開け、換気を行う。
- 児童は、3限開始前、給食開始前、5限開始前に手洗いを実施する。
- 授業においては、3つの条件（換気の悪い密閉空間、人の密集、近距離での会話や発生等）が同時に重なる場を避ける。
ランドセルロッカーは、ワークスペースに出す。教室での机は、隣の児童との間隔をできるだけあけて座る。
 - ・机を合わせたグループでの長時間の会話は避ける。
 - ・給食は、机を前に向けた状態で食べる。
- 教員は、掃除の際に、教室やワークスペースのドアの引き手など、多くの児童がよく触れる箇所を消毒する。
※各教室に消毒用スプレーを設置する。